

令和10年(2028年)4月開校を目指して…

設置準備状況について

1. 用地造成
2. 校舎等施設整備
3. 広報・周知活動
4. 企業との連携・共創
5. 設置認可申請準備

I. 用地造成

(野洲市市三宅の県有地 約50,000m² うち工事対象 約38,000m²)

工事着手前(R6.11.11)



令和5年7月～令和7年3月 造成設計
令和6年12月 工事開始

法令上の手続

- ✓ 市街化調整区域 …開発行為許可取得(都市計画法)
【要件】東側市道側に歩道整備、防犯灯設置
- ✓ 地域森林計画対象民有林 …林地開発の連絡調整実施(森林法)
【要件】残置・造成森林率25%以上確保
- ✓ 1ha以上の土地 …自然環境保全協定締結(県自然環境保全条例)
【対応】四季調査実施、自然環境調査報告書作成・提出、保全対策

R7.1.16



伐採・伐根を進める

R7.8.26



盛土を進める

R7.12.26



令和8年3月完了予定
浸透池・雨水排水設備整備、
歩道整備、防犯灯設置を進める

工事のポイント

- 下水配管の勾配のため地盤高を約1.5m嵩上げ
- 雨水排水について、地下浸透方式を採用(浸透池設置(100年確率降雨にも対応))
- ガス、電気、上下水の各インフラを併せて整備



2. 校舎等施設整備

- 令和6年10月 設計開始
- 令和7年6月 基本設計公表

施設	構造	階数	面積
校舎棟	鉄骨造	3階	約10,900m ²
図書交流・食堂売店棟	鉄骨造	2階	約2,400m ²
学生寮	RC造	2階	約1,400m ²
実習工場・実験室棟	鉄骨造	1階(一部2階)	約2,200m ²
体育館	鉄骨造	1階	約1,600m ²

【ポイント】 ①三上山や野洲川を眺望し、思索にふけることのできる空間づくり
②語らい、共創を育む「交流スペース」、少人数教育・課外活動が可能な「多目的室」やGWが可能な「コモンスペース」の複数設置
③環境へ配慮したZEB Readyの達成 ④県産木材の使用
⑤体育館の避難所利用を想定した電源自立型ガス空調の設置 など

- 令和7年11月 校舎棟の設計完了

企業や地域住民等との
交流拠点



図書交流・食堂売店棟



校舎棟

語らい、共創を育む
「交流スペース」

実習工場・実験室棟



体育館

空調完備



キャンパスモール

学生寮
(収容人数50人、
留学生にも対応)



コンセプト

- 地域に溶け込み、地域から誇りと愛着を持たれるキャンパス
- 現代的・実質的・コンパクト

◆ 今後の予定

- 令和8年1月 校舎棟以外の設計完了
- 令和8年2月～ 工事発注手続
- 令和8年5月 建設工事開始
- 令和9年11月 建設工事完了
- 令和9年12月～ 学校備品、設備納入

3. 広報・周知活動

各種情報発信

- 専用ホームページやブログを開設



- 各種広報資材を作成、配布・発信
(リーフレット、PR動画、ペン立てキット、のぼり、ポスター)
- 県内市町教育委員会、市町校長会への訪問・説明
- 保護者向け情報誌「教育しが」への連載記事掲載
- 各メディアからの取材対応

令和6年1月～令和7年3月 月刊高専(WEB、計6回)

令和7年10月 日刊工業新聞

令和7年11月 日本経済新聞

令和7年12月 日刊建設工業新聞



←令和7年10月2日
日刊工業新聞



令和7年11月26日→
日本経済新聞
高専特別版2025

認知度が向上！

県内

LINEアンケート

令和7年度
68.5%

R6年度 64.2%

R5年度 57.3%

【課題】

- 10代、20代の認知度が約40%にとどまった。
- 大津地域(大津市)(59.1%)・湖西地域(高島市)(58.1%)の認知度が相対的に低い。

県外

しがwebアンケートプラス調査

調査期間:R7.9.26～9.27

対象者:近隣2府6県在住の
18歳以上

標本数:1,000人

令和7年度
5.3%

R5年度 3.6%

【課題】

- 全年代を通して認知度は低い。
- 京都市や高槻市などJRで通学可能な地域
であっても、県立高専に通学可能と回答する
人数が少なかった。

◆ 今後の予定

- これまで実施してきた活動を継続・拡大
- 中学校向け広報を追加

4. 企業との連携・共創

応援団づくり

- 「県立高専共創フォーラム」への参画を募集(令和5年11月~)

総計	企業	団体	高専	大学	行政	個人	
404	260	19	2	4	1	118	R7.12.26時点

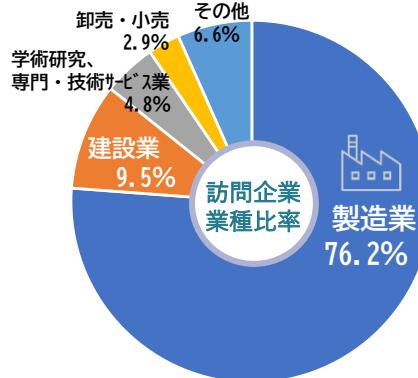
- 企業関係者向けフォーラムイベントの実施による情報発信・機運醸成

	日時	テーマ	参加者数
1	R6.2.8	「高専生の未来可能性、滋賀県立高専・産業界への期待」 「高専と企業との連携・共創の現状と未来への展望」	約250人
2	R6.9.11	「STEAM教育」、「ダイバーシティ」	約180人
3	R7.2.13	「未来を共創『知行合一』のエンジニア育成」 「企業等と県立高専との連携・共創メニューの個別具体化に向けて」	約200人

- メールマガジンによる情報発信(16回発行 ※うち3回は臨時号)

参画企業への個別訪問

令和6年8月～令和7年7月の期間に
製造業を中心に100社訪問



企業の関心度が高いメニュー

- ① インターンシップ(5日または10日程度)
- ② 県立高専内業界・企業等説明会
- ③ 1日就労体験
- ④ 卒業後のUターン就職に関する連携
- ⑤ 企業等交流会
- ⑥ 企業等PRブック作成
- ⑦ 県立高専内への企業広告

参画企業からのご意見

- インターンシップ
県立高専開校を契機にインターンシップに取り組んでみたい。
- 教育支援
学生に成功体験を与え、モノづくりを楽しいと感じてもらいたい。
- 教員派遣
長期でカリキュラムに関わる形を望む。
- 企業所有設備・機械の教育利用
社員教育用のミニプラントや安全教育施設があるので活用してほしい。
- 寄付・奨学金
教育機器での寄付を考えている。学生の教育活動に活用してほしい。
- リクルート
企業説明会等学生に会社を知つてもう機会をつくってほしい。

教育に関するインターンシップから検討開始

専門分野の教育目標の達成を重視

開校に照準を合わせて、連携・共創メニューの個別具体化を進める

5. 設置認可申請準備

◆ 進捗状況(令和7年度~)

- ▶ 公立大学法人滋賀県立大学に高専開設準備局(29人体制(うち開校準備教員7人))を設置
- ▶ 北村理事と開校準備教員“7人の侍”が揃い、カリキュラム編成や学校運営体制づくり等を本格化
- ▶ 8つのWG(ワーキンググループ)を組織し、各種項目を検討・立案

WG	これまでの検討・立案項目
教務	3ポリシー、教育課程の編成、学則
総務	学内体制、学内委員会、教職員研修
入試	入試制度、授業料等、教育委員会との連携
広報	出前授業、広報イベント、中学校訪問
企業・地域連携	企業訪問、県立高専共創フォーラム
学生支援	学生支援体制、課外活動、学生寮、食堂
施設	校舎棟整備、学内システム、ネットワーク、実験・実習機器、什器備品、図書
認可申請	各認可申請書類の作成

◆ 今後の予定

- ▶ 令和8年春頃 学生確保見通し調査
(中学生・企業向けアンケート)
- ▶ 令和8年10月 設置認可申請
- ▶ 令和9年秋頃 設置認可取得
- ▶ 令和10年1~2月頃 入試
- ▶ 令和10年4月 開校

